

展示

3がつ11にちをわすれないためにセンター（わすれん!）のプロジェクトの一部を紹介します。

3/11（水）～3/15（日） 時間 10:00-18:00 会場 1F オープンスクエア
3/17（火）～4/19（日） 時間 9:00-22:00 会場 7F ラウンジ・スタジオa
※3/26（木）はお休み

葛尾村と松本家と来訪者の年表〈2016-2025〉

松本家計画〈余田大輝（よだ ひろき）、篠千丸（いしかだ ちまる）、石田きなり（いしだ きなり）〉



訪れる、記録する、物語る。

松本家計画は、福島県葛尾村にある一軒家「松本家」を舞台にさまざまな活動・記録をしています。避難指示解除後の葛尾村を訪れる人との交流やそこに住まう人の営み、震災や復興、土地の歴史など、「松本家」を通して見てきた物語を展示します。

中野伝承プロジェクト

なかの伝承の丘保存会



蒲生なかの郷愁館

震災により甚大な被害を受けた、仙台市宮城野区の旧中野小学校跡地に作られた「なかの伝承の丘」。その保存会の皆さんの活動の様子を、メンバー自らが映像で記録しています。今回は、2024年3月3日に開館した「蒲生なかの郷愁館」の開会式の様子と展示室を記録した映像を展示します。

広域避難のきろく

NPO法人北海道NPOサポートセンター

インタビューシートに書きのこす、それぞれの避難

一人ひとりの多様な避難の経験を記録するために、北海道で避難者支援事業に取り組むNPO法人北海道NPOサポートセンターと協働で、東日本大震災の「避難のこと」を書きのこせる「インタビューシート」を作りました。宮城県や福島県などから主に北海道に避難した方が寄せてくれたシートを展示します。

ならはアーカイブプロジェクト

一般社団法人ならはみらい



今だから話せる、あの時のこと。

福島県檜葉町は、原発事故により全町避難を経験し、避難指示の解除から2025年で10年を迎えました。町に戻った人、今も別の場所で暮らす人、震災後に町に関わるようになった人。それぞれが異なる道のりを歩んできました。ならはみらいでは、「道のリシート」を用いて、震災から現在に至るまでの経験や想いを伺い、その記録をまとめています。



3月11日の記録を手がかりに

2018年9月6日の北海道胆振東部地震では、地震から18分後、全道規模の大規模停電（ブラックアウト）が起きました。そのなかで、どのようなごはんを食べたか、どのように過ごしたかなどについての記憶を残すために、2011年3月11日の星空の写真や「3月12日はじまりのごはん」のパネルを活用し、北海道の人たちが残したふせん／記憶を紹介します。

3月12日はじまりのごはん〈二膳目〉

3.11 オモイデアーカイブ

食から思い出す震災の記憶



市民が撮った東日本大震災の「食」にまつわる写真をもとに、来場者と震災後の暮らしを振り返る催し「3月12日はじまりのごはん」。その続編となる「3月12日はじまりのごはん〈二膳目〉」は、“なぜその写真を撮影したのか”といういきさつを通し、当時感じた感謝や違和感など、写真の裏側にある撮影者の気持ちに触れる展示です。

書きのこす

「書きのこす」ことに焦点を当てた取り組みを紹介します。

インタビューシート



それぞれの災禍の体験を綴り、振り返る

2023年3月より館内に設置している「インタビューシート」。東日本大震災に関するさまざまな体験談が残されてきました。今年度、わすれん!では新たに、宮城県外の個人・団体と協働し、東日本大震災以外の災害や災禍も振り返るインタビューシートを制作しました。これまでに寄せられたシートを読みながら、ぜひあなたの体験も教えてください。

東日本大震災のこと

協働：生活工房（公益財団法人せたがや文化財団）
丹羽朋子（にわともこ）文化人類学研究者

東日本大震災 避難のこと

協働：NPO法人北海道NPOサポートセンター

能登半島地震のこと

協働：映像ワークショップ合同会社

コロナ禍のこと

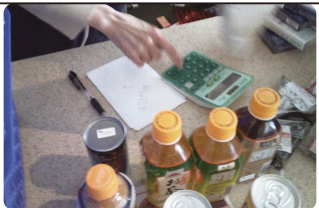
協働：生活工房（公益財団法人せたがや文化財団）
丹羽朋子（にわともこ）文化人類学研究者

学生のころのコロナ禍のこと

制作：お茶の水女子大学の学生有志
丹羽朋子（にわともこ）文化人類学研究者

まちなかの距離感 ―2011年と2020年の仙台―

3.11 オモイデアーカイブ／佐藤正実（さとう まさみ）



2つの災禍の風景から思い出す

2011年の東日本大震災と2020年頃のコロナ禍において、市民が撮影したまちの写真を展示します。それぞれの写真には、コンビニ、スーパー、商店街、駅などの普段と違った様子が写され、2つの災禍における類似した状況、あるいは全く異なる状況が見て取れます。これらの写真から思い出したみなさんの暮らしのエピソードを、ふせんに書いて教えてください。

写真上：2011年 / 下：2020年

窓のうかがわ

3.11 オモイデアーカイブ



非日常のつまびらかな日々

自然の脅威にさらされた2011年3月。余震が続き、電気も灯かす真っ暗な夜でも、家の中はロウソクの灯火でやんわりと明るく、家族と過ごす窓のうかがわには安心感がありました。非日常が日常となった日々の暮らしや子どもを見つめる親のまなざし、子どもの姿など、家族を写した写真から当時の市民生活を見つめ直します。

道のりシート

宮本匠（みやもと たくみ）大阪大学

